

夢や目標持ち頑張って

宇宙飛行士 若田さんが講演



「宇宙には限りない可能性がある」と語る若田さん

1スシャトル搭乗の過程で経験した訓練、シャトル内での生活や宇宙遊泳などを、映像を交えて紹介。宇宙から地球を見た感想を「大自然の営みの強さと人間の科学技術力を感じ、美しい地球を守ることに大切さを最も強く印象付けられた」と話した。近い将来に商業ベースの宇宙観光も夢ではないと言及。子供たちに対して「夢や目標を持って頑張る。必ず実現の道は開ける」と語りかけた。

宇宙飛行士の若田光一さん(40)は宇宙航空研究開発機構(JAXA)が1日午後、帯広市内のとちプラザで講演した。宇宙の魅力や限りない可能性について語り、「宇宙産業に危険は伴うが、人間が新しい技術や環境を得ていくために取り組むべき価値ある仕事。1人でも多く興味を持ってほしい」と航空宇

宙産業への理解を訴えた。

十勝支庁の「北の航空宇宙基地とち推進事業」の一環で、同支庁と十勝圏航空宇宙産業基地構想研究会が主催。管内から親子連れら約300人が出席し、伊藤仁副支庁長が開催あいさつした。

若田さんは「宇宙への夢」と題し、2度のスペ

講演後、記者会見も行った。成層圏フラットフォームの試験地となっている大樹町について「航空宇宙分野に関する実験が

可能な条件を備え、先駆的な開発が行われている」と評した。
(広田美)